学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	ソーシャルケアセミナー						
使用教科書	「こころとからだの理解」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会福祉の現場を訪問することで、その人たちの暮らす場におけるしあわせとは何かを考えていきましょう。
・利用している人、そこで働いている人、またその家族など、関わっている人たちの立場や気持ちを知ることを目標にしましょう。
・それぞれの立場（状況）の人にとって「人間の尊厳（命の尊さ）」「より良い暮らし（生活）」「生きがい（人生）」とは何なのかについて深く考えていきましょう。

２　学習の到達目標

自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得させ，介護実践に適切に活用できる能力を育てることを目標とします。また、人体の構造と機能，発達と老化，認知症及び障がいに関する基礎的な知識を習得するとともに、援助を実践する場において、どのように活用されているかを知り、技術を身につけることを目標とします

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	こことろからだのしくみに関心をもち、人間の発達に関する諸課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉援助に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身につけている。	高齢者や障がい者に関わる諸問題の解決に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	こころとからだのしくみに関する基礎的な知識と技術を身につけ、福祉に関する諸活動において、その知識や技術を適切に活用している。	高齢者や障がい者のこころとからだのしくみについて理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身につけるとともに、社会福祉援助の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 実習への参加 実習日誌 レポート	プリントの記述 発表 定期考査 レポート	プリントの記述 グループワーク 実習態度 実習日誌 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2	こころとからだのしくみの理解	・こころのしくみの理解 私たちの生活と健康 人間の欲求・基本的理解 自己概念と尊厳 意欲・動機付け・思考・感情 記憶・学習・適応 ・からだのしくみの理解 生命維持・恒常性・脳・神経系	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:こころとからだのしくみに関心をもち、人間の発達に関する諸課題を理解したうえで、社会福祉援助の方法について探求しようとしている。 b: こころとからだのしくみについて理解し、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:こころとからだのしくみを理解し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: 一人ひとりの心身の状況に対応した援助を行うために必要なこころとからだのしくみを理解している。	学習状況の観察 プリント記述 定期考査 グループワーク
1	老年期の理解と日常生活	・老年期の発達と成熟 ・加齢に伴う心身の変化の特徴 ・加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響 ・高齢者施設訪問学習	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:老年期の日常生活に関心をもち、加齢に伴う心身の変化の特徴を理解したうえで、高齢者との関わりの方法について探求しようとしている。 b:老年期の日常生活に関心をもち、加齢に伴う心身の変化の特徴を理解したうえで、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:加齢に伴う心身の変化や日常生活の変化についての基礎的な知識や技術を、実際の援助場面において適切に活用している。 d: 一人ひとりの心身の状況に対応した援助を行うために必要な加齢に伴う心身の変化や日常生活の変化を理解している。	学習状況の観察 プリント記述 定期考査 グループワーク 実習態度

1・2	認知症の理解	・認知症高齢者の現状と今後 ・認知症に関する行政の方針と施策 ・認知症による症状 ・認知症の主な病気の症状 ・若年認知症 ・認知症の人の特徴的な行動・心理 ・認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響 ・地域におけるサポート支援 ・高齢者施設訪問学習	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:認知症高齢者との関わりに関心をもち、認知症に伴う心身の変化の特徴を理解したうえで、認知症高齢者との関わりの方法を探求しようとしている。 b:認知症高齢者の日常生活に関心をもち、認知症の症状や日常生活の変化を理解したうえで、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c: 認知症高齢者の日常生活に関心をもち、認知症の症状や日常生活の変化についての基礎的な知識や技術を、援助場面において適切に活用している。 d: 一人ひとりの心身の状況に対応した援助を行うために必要な認知症の症状や日常生活の変化を理解している。	学習状況の観察 プリント記述 定期考査 グループワーク 実習態度
3・4	障がいの理解	・障がいの概念 ・障害者福祉の基本理念 ・身体障がい ・精神障がい ・知的障がい ・障がいのある人の心理 ・障がいに伴う機能の変化と日常生活への影響 ・障がいと地域生活支援 ・障がい者施設訪問学習	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:障がい者福祉に関心をもち、基本理念や障がいに関する基礎知識や心理を理解した上で、障がい者との関わりの方法について探求しようとしている。 b:障がい者福祉に関心をもち、障がいに伴う機能の変化と日常生活への影響を理解したうえで、自らの障がい観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:障がいについての基礎的な知識や支援方法を習得し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: 一人ひとりの心身の状況に対応した援助を行うために必要な障がいの理解や日常生活の変化、地域生活支援について理解している。	学習状況の観察 プリント記述 定期考査 グループワーク 実習態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。